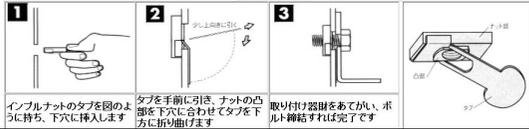


保安基準対応

製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式	構成部品及び付属品リスト																								
M'z SPEED	MZ88	ホンダ オデッセイ	DBA-RC2		K24W	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体(A)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本体(B)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本体(C)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>50φガスケット</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>M10x35フランジボルト</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>M10フランジナット</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>M10x15フランジボルト</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>マフラーバンド小</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>付属ブラケット</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>付属ゴム (03)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>付属M10インブルナット</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	品名	数量	本体(A)	1	本体(B)	1	本体(C)	1	50φガスケット	2	M10x35フランジボルト	4	M10フランジナット	4	M10x15フランジボルト	1	マフラーバンド小	1	付属ブラケット	1	付属ゴム (03)	1	付属M10インブルナット	1
品名	数量																													
本体(A)	1																													
本体(B)	1																													
本体(C)	1																													
50φガスケット	2																													
M10x35フランジボルト	4																													
M10フランジナット	4																													
M10x15フランジボルト	1																													
マフラーバンド小	1																													
付属ブラケット	1																													
付属ゴム (03)	1																													
付属M10インブルナット	1																													

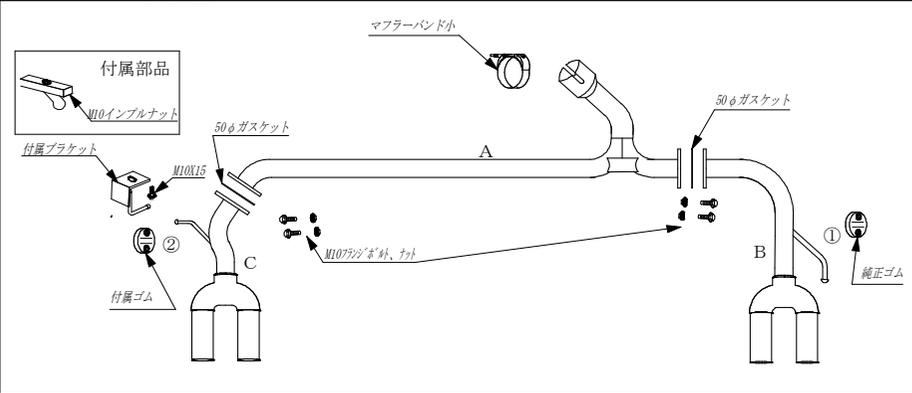
使用方法



インブルナットのタブを図のように持ち、下穴に挿入します

タブを手前に引き、ナットの凸部を下穴に合わせてタブを下の方に折り曲げます

取り付け器脚をあてがい、ボルト締結すれば完了です



純正吊下げブラケットベースパイプ溶接部の後端より70mm位置にて純正マフラーを切断。

最低必要工具

メガネレンチ	12mm 14mm
ソケットレンチ	12mm 14mm
トルクレンチ	

組立作業手順

警告!

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
※装着作業は必ず2名以上で行なってください。
※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

- 「純正マフラーを外し、マフラーカット位置にて純正マフラーをカットして下さい」
カット位置は添付写真を参考をお願いします。
- 「本体(A)(B)の仮組付け」
本体(A)の差込み口と、純正マフラーの切断部をしっかりと差し込みます。
差し込む前にマフラー部に先にマフラーバンド小を通しておきます。
次に本体(A)と(B)の間に50φガスケットを挟み、M10x35フランジボルト、M10フランジナットにて仮締結をします。
本体(B)の取り付けブラケット①に純正ゴムをしっかりと差し込みます。
- 「本体(C)の仮組付け」
最初に、車両後方左フレームの穴に、M10インブルナット取付し、付属ブラケットをM10x15ボルトで取付けして下さい。次に、付属ブラケットに付属ゴムを差し込んで下さい。
本体(C)の取付けブラケット②を付属ゴムに差し込み、本体(A)フランジと本体(C)フランジの間に50φガスケットを挟み、M10x35フランジボルト、M10フランジナットにて仮締結をします。
- 「全体的本組み付け」
本体(A)(B)(C)及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。

本体(A)(B)(C)及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。
(締め付けトルク400～500Kgf.cm)
フランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。
(締め付けトルク400～500Kgf.cm)
テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。

- 「装着状態の確認」
全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直して下さい。
《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》
以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い!

装着後200～300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。

2019/8/24 作成

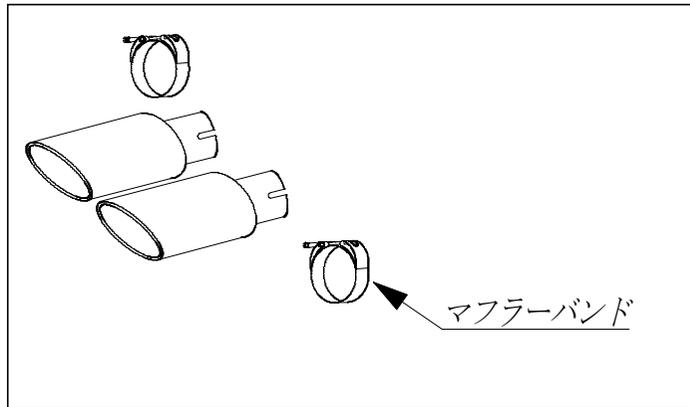
製品番号 : MZ88
ホンダ オデッセイ DBA-RC2

◎専用マフラーカッターの組付け

パイプの先端に、専用マフラーカッターを差込み、リアバンパーの先端から出ないように調整してマフラーバンドで締付けして下さい。

構成部品及び付属品リスト

マフラーカッター本体 : 4本 テールサイズ
専用マフラーバンド : 4個 120x85-130mm



ご注意!

◎ マフラーカッターと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。不具合がある不具合がある場合は最初から締め直して下さい。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。

お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類を増し締め及び点検を行って下さい。

騒音防止装置規定 7-53 以下抜粋

(9)次に掲げるものは、(4)の基準に影響しない消音器の改造とする。①指定自動車等に備えられている消音器本体と同一であって、消音器本体と消音器出口側の排気管との接合部の内径が拡大されていないもの②消音器出口側の排気管に装着する意匠部品(騒音を増大等させるためのものを除く。)の取付け又は取外し

※純正マフラー消音器の接合部内径52φ
交換用マフラーMZ88内径48.2φ

純正マフラー音量 近接騒音測定値 測定回転数	交換用マフラーMZ88装着時 近接騒音測定値 測定回転数
4800rpm 83dB	4800rpm 84dB